

令和7年4月1日施行 脱炭素大改正による教材の訂正等 No.2

〔構造10回分〕

2025年2月2日

2025年目標 TAC 一級建築士講座

- ・この資料は構造 10 回分についてのものです。
- ・**項目別問題集**について、構造 10 回の講義範囲に該当する No. 561～700 の訂正はありません。

日付	頁	誤	正
2/2	構造テキスト P280 Q38・39	【※1を切り貼りしてください】	

- ・以下は誤植の訂正です。

日付	頁	誤	正
	構造テキスト P70 Q25	$= \frac{10 + \overset{20}{\textcircled{30}}}{2} = 15\text{mm}$	
	構造テキスト P79 Q5	$\left(\frac{2}{3}\right)\sigma \text{ であり、}$	$\frac{3}{2}$
2/2	構造テキスト P87 Q16	△点のたわみ	C点のたわみ
	構造テキスト P87 Q26	B点のたわみ	C点のたわみ
	構造テキスト P108 Q23	$M_{BD} = 7Pl \times \frac{\overset{3}{\textcircled{4}}}{4+3} = 3Pl$	

以上のとおり、訂正をお願いいたします。

※1 テキストへの切り貼り用

- (2) 構造耐力上主要な部分には、「延べ面積 3,000㎡以下、軒高 9 m以下、はり間 13 m以下の場合」及び「地階を除く階数が 3 以下、高さ 16 m以下、延べ面積 500㎡以下、スパン 6 m以下で、ボルト孔のずれを含めて計算した層間変形角が原則 1/200 以下の場合」は、ボルト接合を使用できる。